



ヘリコプターによる管内流域調査を実施しました。

飯豊山系砂防事務所では、毎年梅雨明けの8月頃に管内の流域荒廃状況をヘリコプターで上空から調査しています。

本年は、令和4年8月3日からの大雨から1年を迎えるにあたり、8月7日、8日、9日の3日間で、関係機関(関川村、新発田市、小国町、村上警察署、村上市消防署、小国警察署、西置賜行政組合消防署小国分署)と合同で、荒川流域や加治川流域を調査しました。

今回の調査では、新たに大規模な土砂崩落等は確認されませんでした。

これから、秋の台風時期になります。土砂災害に注意しましょう。



上ノ沢流域(関川村)

既設堰堤のスリット化により、昨年8月の大雨時には、土砂捕捉の効果を発揮しました。スリット化の効果として、その後の中小出水により堆砂した土砂が少しずつ流出し、今回の調査時には、堆砂量が減少していることを確認しました。



明沢川第3号砂防堰堤(小国町)



藤沢川第3号砂防堰堤(関川村)

8月7日



綱川第2号砂防堰堤(小国町)

8月8日



下土沢流域(関川村)



中中山沢流域(新発田市)

8月9日